社会科学習指導案

実　施　日　平成23年８月31日
実施クラス　２年２組（４校時）
授　業　者　池　下　　誠

１．指導単元

日本の諸地域「東北地方　生活・文化を中核とした考察」

２．授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・地図や文章資料を読み取り、自分の言葉でまとめさせる。
・ＩＣＴを活用して、生徒の興味・関心を高めるとともに、積極的に発言できるようながす。

３．本時の授業

①東北地方の自然環境をとらえる。
②東日本大震災との関連で、東北地方の人々の生活をとらえる。

	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点(評価)
導入	・東日本大震災の被害状況と東北地方	・今年の３月１１日に起きた大きな被害が何かを考えさせる ・東日本大震災の被害が大きかった地域はどこかを調べさせる。	・東日本大震災 ・東北地方の太平洋側	・東日本大震災の映像をみせるが、悲惨なものは避ける ・地図から、東北地方の被害が大きかった地域をとらえさせる。（資料活用）
展開	・東北地方の人々の生活 ・東北の水産業 ・獲る漁業から育てる漁業	・東北地方で、被災した人々が多かった地域の自然環境 ・東北地方で震災で被災した地域では、人々はどのような生活をしていたかを考えさせる ・東北地方の太平洋岸では、どうして水産業がさかんなのかを資料から、考えさせる。 ・資料から、日本の漁業の特徴をとらえさせる。	・リアス式海岸、海沿いにある狭い集落 ・海の近くで生活をしている人が多い。 ・水産業、漁業 ・港がつくりやすい ・魚がよく獲れる ・寒流と暖流がぶつかるところに位置する。 ・遠洋漁業､近海漁業、沿岸漁業が減少している ・養殖がさかん	・リアス式海岸が津波の被害が大きかったことに気付かせる。 ・漁港が発達していることに着目させる。（資料活用） ・寒流と暖流がぶつかり、寒流と暖流の両方の魚が獲れることに気付かせる。（資料活用） ・日本海側の海流の流れにも注目させる。 ・獲る漁業が減少し、育てる漁業が増えていることに気付かせる。（思考・判断・表現）
まとめ	・三陸海岸の水産業の課題 ・まとめ	・資料などから、三陸海岸の水産業の問題を考える。 ・今日の授業を振り返えさせる。 ・自己評価と今日の授業のまとめを書かせる。	・漁港、船舶の確保、水産加工場の再開 ・今日学習したことを振り返る。 ・今日の授業でわかったことを記述する ・自己評価を書く。	・自分にできることはないかを考えさせる。 ・必ず、今日の授業で分かったことと自己評価を記入させる。